

PART I

■ シンポジウムプログラム

司会：高橋 若菜（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター副センター長、国際学部教授）

開会あいさつ 10：00～10：05

中村 真（宇都宮大学国際学部長、国際学部教授）

趣旨説明 10：05～10：10

重田 康博（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター員、国際学部教授）

第1部 講演 10：10～11：10

1. 「奥日光の森はどのように形づくられてきたかー自然を活かした観光地づくりにむけてー」

大久保達弘（宇都宮大学農学部森林科学科教授）

2. 「外国人が見つけた奥日光の自然の魅力」

森田 孝道（日光自然ガイド協議会・日光自然博物館自然解説員）

3. “Sustainable Tourism Destinations in Europe and Japan”

Bernadett Kiss（CMP S 研究員／スウェーデン Lund 大学国際産業環境経済研究所講師）

4. “National park management in Japan and the US”

Carl Salk（CMP S 研究員／スウェーデン農業科学大学 研究員）

質疑応答 11：20～11：30

第2部 留学生によるプレゼンテーション 11：30～12：00

国際交流都市日光の再発見『奥日光の自然を活かした観光地づくりを留学生と考える』

Aグループ：中禅寺湖エリア、Bグループ：戦場ヶ原エリア、Cグループ：湯ノ湖エリア

プレゼンテーションへのコメント 12：00～12：05

伊東 剛（日光市観光経済部観光課長、日光市国際交流協会事務局長）

閉会あいさつ 12：05～12：10

湯澤 伸夫（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター長、国際学部教授）